

横浜国立大学

創基 150 周年・開学 75 周年記念募金事業

YNU 横浜国立大学
YOKOHAMA National University

ご案内とご支援のお願い

「**知**の
統合型大学として」

世界水準の研究大学を目指す





横浜国立大学 創基150周年・開学75周年基金への ご支援のお願い

横浜国立大学は、明治7年(1874)に神奈川県内に設置された小学校教員養成所を起源とし、大正9年(1920)に設置された横浜高等工業学校、大正12年(1923)に設置された横浜高等商業学校とともに、昭和24年(1949)に新制国立大学「横浜国立大学」として開学しました。その後、昭和54年(1979)には、大岡地区や清水ヶ丘地区などに点在していた学部が常盤台地区に移転し、One Campusとして今日に至っております。令和6年(2024)には、創基150周年、開学75周年を迎えるとともに、理工学部は令和2年(2020)にすでに100周年を迎え、経済学部・経営学部は令和5年(2023)に100周年、教育学部も令和6年(2024)に150周年を迎えました。

この間、各界で高い評価を得ている優秀な人材を数多く輩出できましたことは、教育界、産業界、地域・自治体の皆様、同窓生やそのご家族の皆様、本学教職員の皆様などが、それぞれのお立場から多様なご支援をいただいている賜物と心から感謝申し上げます。

本学は、日本近代発祥の地に設立された建学の歴史の中で、人文系、社会系、理工系など多様な学術知・実践知を有する教員がOne Campusに集っています。その強みを生かし、国や自治体、産業界、市民等の多様な皆様と連携することで、「新たな社会・経済システムの提案」、「イノベーションの創出・科学技術の発展」に寄与する「知の統合型大学」として「世界水準の研究大学」を目指すとともに、その高度な研究を基盤に、高い技術力・発想力・実践力などの複合的な力を備えた国際的に活躍できる人材を育成する高度な教育プログラムを強力に推進していきます。

創基150周年を機に設立しました「横浜国立大学 創基150周年・開学75周年基金」では、新たなまちづくりと未来創生に貢献する“YNU 新湘南共創キャンパス”の創設事業、日本初の試みであり、本学及び国内他機関等の多様な知を結集した文理融合による台風科学技術研究センター支援事業、世界で活躍する優れた人材の養成と体育施設の一体的改修による学生支援事業、併せて、100周年を迎えた経済、経営、法律系、150周年を迎えた教育学部の記念事業について、皆様のご支援を賜りたく、お願い申し上げる次第です。



国立大学法人 横浜国立大学 学長

梅原 出
Izuru Umehara

「知の統合型大学として」世界水準の研究大学を目指して

横浜国立大学創基150周年を次の世紀に向けた発展の起点とし、記念基金へのご寄附(募金期間5年間、総額5億円)と、今後の継続的なご寄附をお願いいたします。

横浜国立大学が目指すビジョン

1. 世界水準の研究大学を目指す

イノベーション創出の中心的役割を果たすべく、文理融合型の思考により、世界の様々な分野の研究者との連携を深め、「知の統合型大学」として世界水準の研究大学を目指します。

2. 地域の様々な機関と連携して未来を創る

横浜・神奈川にある唯一の国立の総合大学として、地域課題から地球規模の課題まで、自治体や産業界等と分野を超えてオープンに連携しながら、新たな社会・経済システムの構築とイノベーションの創出を目指します。

3. 世界で活躍できる優秀な人材を輩出する

世界水準の研究を基盤として、体系的で高度な専門教育と多様な知を統合し得る教育プログラムを推進し、また社会の様々な課題に取り組む資質・能力の育成を通じて、世界で活躍できる優秀な人材を輩出します。

創基150周年記念事業のコンセプト

創基150周年を機に、次の世紀に向けて、横浜国立大学が目指すビジョンを広くお伝えし、皆様とともに、地域と世界の未来を創ります。

～募金事業の3つのテーマ～

1

**世界水準の研究力で
安心安全な社会を実現する**

世界水準の研究力により、地球規模の課題を解決し、安心安全な未来を創ります。

2

**新たなまちづくりと
未来創生に貢献する**

共創の舞台で地域・社会の課題を解決し、新たなまちづくりと未来創生に貢献します。

3

学生の意欲と熱意に応える

世界で活躍する優れた人材を養成し、またスポーツに、学業に本気で取り組む学生の意欲と熱意に応えます。

横浜国立大学 創基150周年・開学

1. YNU新湘南共創キャンパスの創設事業 ～新たなまちづくりと健康長寿社会の実現を目指して～

目標
金額 **1億5,000万円**

神奈川県、藤沢市、鎌倉市、湘南ヘルスイノベーションパーク、湘南鎌倉総合病院を中心とした“ヘルスイノベーション最先端拠点形成構想”※に本学が参画し、新しいまちづくりと健康長寿社会の実現に向けた教育研究拠点として、2023年11月に“YNU新湘南共創キャンパス”を設置しました。

新キャンパスでは、人々の生活と医療・ヘルスケアに関わる研究活動と共に、小中高の児童・生徒を対象としたIT社会に通用する総合学習の実施、地域の皆様との地域課題の抽出・解決に向けたワークショップの開催など、本学の学生を交えた実践的な学びを通じた教育活動も展開しています。

新たなまちづくりと健康長寿社会の実現に向けて、“YNU新湘南共創キャンパス”における地域連携活動を、学生と地域の皆様と共に推進するためにご寄附を活用させていただきます。

湘南アイパーク外観



※ヘルスイノベーション 最先端拠点形成構想とは

神奈川県、藤沢市、鎌倉市、湘南ヘルスイノベーションパーク、湘南鎌倉総合病院の5者が連携・協力し持続可能な地域社会のリーディングエリアの構築と、健康寿命の延伸やヘルスケア分野の産業創出を図る研究を進める取り組み。

YNU新湘南共創キャンパスでの主な活動内容について

- ① 湘南アイパークなどを会場としたヘルスケアイベントの開催
- ② 総合学術高等研究院“次世代ヘルステクノロジー研究センター”における医工連携研究活動
- ③ 実践的教育(副専攻プログラム地域課題実習等)やビジネススクール、ROUTEプログラムによる人材育成活動
- ④ 健康長寿まちづくりに向けた体験対話型ワークショップ「てくてくてく」の定期開催
- ⑤ 新湘南ウェルビーイングコンソーシアムでの産学公連携による地域共創活動



次世代ヘルステクノロジー研究センター長からのコメント



YNU新湘南共創キャンパスを拠点に、市民の皆さまや学生と一緒に、産学公医民連携による健康寿命のためのヘルステクノロジー研究や実践的教育活動を展開していきます。皆様、ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

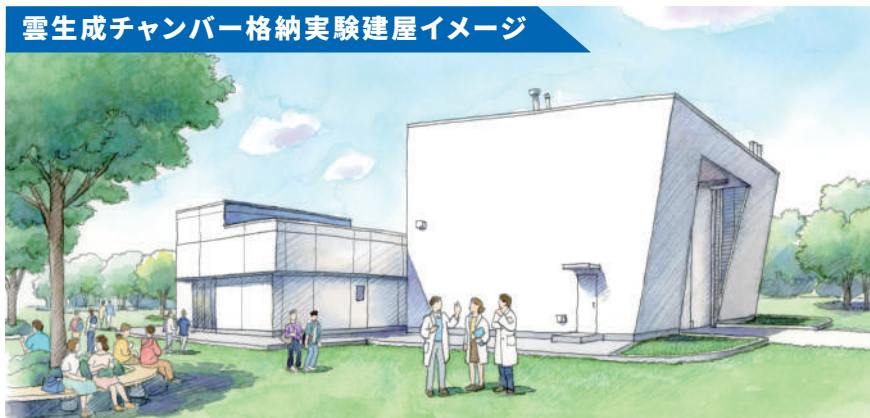
総合学術高等研究院 次世代ヘルステクノロジー研究センター長
大学院工学研究院准教授 下野 誠通

2. 台風科学技術研究センター支援事業 ～横浜国大の知を統合して、台風を「恵み」に～

目標
金額 **1億5,000万円**

当センターは、日本全国の台風研究者とまだ謎の多い台風のメカニズムを追求し、さらに電気化学・船舶工学・法学・経済学・経営学といった本学の特色ある様々な分野の専門家が協働し、台風に関する新たな学術領域開拓と新技術の社会実装を加速する研究拠点です。ミッションの一つ「タイフーンショット計画」では、2050年までに激甚化しつつある台風や豪雨を制御し、極端風水害の脅威から解放された安全安心な社会の実現を目指します。台風研究を加速させるために、実験用の雲生成(台風)チャンバーを格納するための実験建屋を建設します。

雲生成チャンバー格納実験建屋イメージ



雲生成(台風) チャンバーとは？

台風を構成する雲を含め、あらゆる種類の雲がチャンバー内で生成でき、雲から降水までのミクロな過程の再現を可能にする。台風(制御)研究の加速に大いに寄与する装置。

台風科学技術研究センターのミッション例

1. 台風の制御

台風の勢力を弱め、災害を軽減することが目的。台風を構成する雲のミクロな構造の変化等によって台風の構造が変化することがわかっており、現実的な方法で台風の勢力を少しでも落とせることができるかが目的となります。台風の制御には、理学や工学的な要素だけでなく、社会実装のための社会学的な知や人文学的な知見も必要となります。



2. 台風を利用した発電

強風を直接的に電気に変換する風力発電ではなく、風による推進力を得た船のスクローを回し発電することのも一つの案として挙げられます。船内に蓄電することで、被災地に運ぶこともできます。

台風科学技術研究センター長からのコメント



台風は【積乱雲の集合体】です。その「雲」の研究を推し進めることで、台風への理解をさらに深めると同時に、それらの人工制御へのチャレンジを可能にすることができます。世界にまだ1台しかない【雲の人工生成装置＝雲生成(台風)チャンバー】を横浜国立大学に設置し、台風の脅威を「恵み」へと変えるために、ぜひ皆様のお力添えをお願いします！

総合学術高等研究院 台風科学技術研究センター長
教育学部教授 筆保 弘徳

3. 学生支援事業

・スター研究者養成事業（高度な研究者を養成する奨励金の創設）

目標金額 **5,000万円**

世界で活躍するイノベーション創出の中核を目指す先鋭的な若手研究者を養成するために、特に優秀な大学院生（修士・博士課程）を対象とした全学的な奨励金制度を創設します。継続した奨励金の支給により、博士後期課程への進学、海外留学、国際学会への出席等を支援し、将来、世界で活躍できるスターとなるような研究者を養成します。



・体育施設改修事業

目標金額 **1億1,000万円**

教育・研究だけじゃない、大学を支えるスポーツの“チカラ” ここから始めるYNUのスポーツ改革

教育・人材育成において重要な役割を担う体育施設を一体的に改修し、安全で高機能な体育施設の利用から、課外活動の活性化、大学スポーツの高度化を目指します。

また、学生のみならず地域の健康拠点としても活用可能な環境整備を行い、スポーツ教室や健康づくり教室、各種スポーツ大会の開催など、地域社会に貢献する場としての活用を視野に、大学スポーツによる地域共創を目指します。

改修候補施設：体育館（空調）、多目的運動場、野球場、陸上競技場など





4. 各学部等の周年記念事業

・教育学部創基150周年記念事業

目標金額 **1,000万円**

教育学部は明治7年(1874)に神奈川県内に設置された小学校教員養成所を起源とし、令和6年(2024)に150周年を迎えました。

教育学部がまだ学芸学部であった頃に誕生した学生歌「みはるかす」は、学生たちの心のよりどころとして親しまれ、半世紀以上にわたり歌い継がれてきました。教育学部では150周年を記念して「みはるかす」に込められた想いを形にするために、「みはるかす碑」を建立しました。

今後は、「みはるかす」に込められた想いを含めて世代を超えて残し続けていく為に、ライトアップなどの整備事業を計画しています。

また、ご寄附の一部は、県内唯一の国立大学教員養成系学部として、実践的・先進的な資質・能力を身に付けた教員を養成するための学修環境整備に活用させていただきます。



設置場所：教育文化ホール前(令和6年11月建立)

揮毫者：教育学部教授 青山 浩之

デザイン：教育学部教授 原口 健一

学生歌「みはるかす」

作詞：加藤英子さん(昭和34年 学芸学部卒)

作曲：大根田 遼さん(昭和37年 工学部卒)

・社会科学系創立100周年記念事業

目標金額 **3,000万円**

経済学部・経営学部は、その母体である横浜高等商業学校(横浜高商)の大正12年(1923)の創設から100周年を迎えました。そこで、大学院国際社会科学研究院・学府では、以下の記念事業を実施しています。



① 経済・経営学部学生に対する修学支援事業【継続中】

② フューチャー・ホール創設事業(田尻先生胸像環境整備)【実施済】

③ 100周年記念学術シンポジウムの開催【実施済】

経済・経営学部では、データサイエンス教育プログラム(DSEP・LBEEP)の新設を始めとする5年一貫教育で修士号の取得が可能なプログラムに力を入れています。記念事業では、この5年一貫教育で進学する学部学生への修学支援(奨学一時金の給付)を行うことで、新たな時代のニーズに対応しつつ、社会変革を担う優秀な人材をより多く輩出し、大学全体のプレゼンス向上を目指します。

←横浜高商初代校長 田尻常雄先生胸像

理工系学部・大学院をご卒業・修了された皆様へ

理工系学部・大学院は令和2年(2020)に創立100周年を迎えました。

西門周辺の整備事業など、理工系創立100周年記念事業にご協力いただきました皆様におかれましては、厚く御礼を申し上げます。

理工系学部・大学院をご卒業・修了された皆様、在学生の保護者の皆様、教職員、その他関係者の皆様におかれましては、引き続き“スター研究者養成事業”及びその他の事業など、理工系学部・大学院生の応援に資する事業にご協力をいただけますと幸いです。



応募要項

目標金額

総額 **5億円**

募集期間

2023年4月～2028年3月31日

対象プロジェクト

①横浜国立大学 創基150周年・開学75周年記念事業

(YNU新湘南共創キャンパスの創設・台風科学技術研究センター支援・学生支援)

②教育学部創基150周年記念事業

③社会科学系(経済・経営・法律)創立100周年記念事業

募金の状況によっては、事業内容を一部変更する場合がございますので予めご了承願います。

募集金額

個人の方からのご寄附
1口 1万円～



団体・法人からのご寄附
1口 10万円～



※以上の金額にてご寄附のお願いをさせていただいておりますが、金額に関らず、ありがたくご寄附を頂戴いたします。

謝意について

寄附の特典		個人	法人・団体
創基150周年 記念限定	創基150周年・開学75周年 記念銘板 (ご寄附の累計金額) ^{※1}   教育文化ホール YNU ミュージアム内にてご芳名 を掲示させていただきます	20万円以上	100万円以上
	オリジナル返礼品	1万円以上	-
高額寄附者 銘板 ^{※1 ※2}	銘板(ゴールド)の掲示	1億円以上	1億円以上
	銘板(シルバー)の掲示	1,000万円以上	5,000万円以上
	銘板(グレー)の掲示	100万円以上	1,000万円以上
その他の謝意	記念楯の贈呈 ^{※1 ※2}	500万円以上	1,000万円以上
	感謝状の贈呈 ^{※1}	30万円以上	100万円以上
	御礼状・WEBご芳名録への掲載 ^{※3}	ご寄附をいただいた全ての皆様	

※1 原則として一個人または、一法人・団体につき1回までといたします。

※2 高額寄附者銘板及び記念楯の贈呈は、本学へのご寄附累計金額が該当金額に達し次第ご案内いたします。

※3 ご芳名の公表を希望されない方につきましては、掲載いたしません。

横浜国立大学 創基150周年・開学75周年記念募金事業返礼品

一度のご寄附額 **1万円以上 5万円未満** **Y群** から1つお選びください

Y群

Y-1 手作り石饅

返礼品提供
浦島共同作業所
(障害者の就労・自立支援作業所)



Y-2 季節の小さな贈り物「黄金漬」

返礼品提供
(株) 梅一番井口
代表取締役: 井口 久信
(昭和32年、工学部卒)



Y-3 おせんべいやさん本舗 煎遊2種詰合せ

返礼品提供
新井製菓 (株)
代表取締役: 新井 和佳
(昭和52年、経営学部卒)



Y-4 五郎左衛門 (醤油360ml)

返礼品提供
小倉醤油 (株)
代表取締役: 小倉 保正
(平成3年、経済学部卒)



Y-5 周年記念ロゴ入りパッケージ ティーバック(日本茶)

※画像はイメージです。

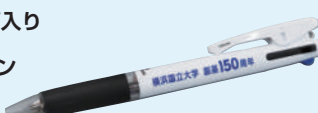


Y-6 周年記念ロゴ入りパッケージ ドリップバックコーヒー

※画像はイメージです。



Y-7 周年記念ロゴ入りクリフター 3色ボールペン



一度のご寄附額 **5万円以上 10万円未満** **Y群 + N群** のいずれかより1つお選びください

N群

N-2 鎌倉だより ハンバーグステーキ レギュラー 5個詰合せ (120g×5個※ソース重量含む)

クール便

返礼品提供
(株) レストラン鎌倉山
代表取締役社長: 長瀬 裕介
(平成5年、経済学部卒)



N-3 梅いちばん 6種セット

返礼品提供
(株) 梅一番井口
代表取締役: 井口 久信
(昭和32年、工学部卒)



N-4 おせんべいやさん本舗 煎遊3段重ね

返礼品提供
新井製菓 (株)
代表取締役: 新井 和佳
(昭和52年、経営学部卒)



N-5 五郎左衛門&しょうゆ糀 (醤油720ml×3本、しょうゆ糀150ml)

返礼品提供
小倉醤油 (株)
代表取締役: 小倉 保正
(平成3年、経済学部卒)



N-6 酔鯨飲み比べ晩酌セット 純米吟醸300ml、特別純米酒300ml、徳利(小)、おちょこ、各1個

返礼品提供
酔鯨酒造 (株)
前代表取締役: 大倉 広邦
(平成14年、経済学部卒)



N-7 周年記念ロゴ入りフリクションボール 3色 ウッド0.5mm



N-8 周年記念ロゴ入りマグネットパッチ 直径17mm



一度のご寄附額 **10万円以上** **Y群 + N群 + U群** のいずれかより1つお選びください
(20万円以上の方は2つお選びください)

U群

U-1 鹿革がまくち Pocket (ブラックor カーキ)

クール便

返礼品提供
ディアベリー (株)
代表取締役: 渡邊 洋平
(令和6年、経営学部卒)



U-2 横浜国立大学ビール「ハマノワビール」バラエティ6本セット

クール便

返礼品提供
(株) 横浜ビール
代表取締役: 高橋 智己
(平成15年、工学部卒)



U-3 紀伊大納言 (はちみつ入梅干: 12粒入)

返礼品提供
(株) 梅一番井口
代表取締役: 井口 久信
(昭和32年、工学部卒)



U-4 おせんべいやさん本舗 煎遊6段重ね

返礼品提供
新井製菓 (株)
代表取締役: 新井 和佳
(昭和52年、経営学部卒)



U-5 ごめんケンカシャモ焼き&酔鯨 純米吟醸 吟釀 (720ml)

クール便

返礼品提供
酔鯨酒造 (株)
前代表取締役: 大倉 広邦
(平成14年、経済学部卒)



U-6 周年記念ロゴ入りCROSS ベイリーボールペン (本体カラー: ブラックor ブルー or レッド)



U-7 GOTOGIN the origin (500ml)

返礼品提供
(株) 五島つばき蒸溜所
代表取締役: 門田 邦彦
(平成6年、経済学部卒)



- ・ 返礼品の発送日は、お申込みいただいてから約1～3ヵ月後となります。尚、在庫がない場合、発送までにお時間をいただく場合がございます。
- ・ 返品につきましてはお受けいたしかねます。
- ・ 複数件お申込みいただいた場合でも、発送は1商品ずつとなります。
- ・ 一部の返礼品はクール便(冷蔵・冷凍)にてお届けいたします。到着日ご相談の為、ご連絡をさせていただく場合がございます。
- ・ 返礼品の発送と領収書の発送は前後する場合がございますので、予めご了承ください。
- ・ ご希望の返礼品が品切れとなる場合や、予告なく生産が終了する場合がございます。予めご了承ください。

ご寄附の方法について



専用払込用紙によるご寄附

同封の払込取扱票に必要事項をご記入の上、郵便局または横浜銀行・三菱UFJ銀行の窓口でお振込ください。 ※複数枚ご入用の場合は、卒業生・基金担当までご連絡ください。

記入例

横浜国立大学 創基 150 周年・開学 75 周年記念事業に 100,000 円、教育学部創基 150 周年記念事業に 100,000 円、合計200,000 円を一枚の払込取扱票でご寄附いただく場合の記入例です。

任意の金額をご記入ください。

02 横浜		払込取扱票		通常払込料金 加入者負担	
口座記号番号		金額		金額	
002906		104594		200000	
加入者名		料金		備考	
国立大学法人 横浜国立大学					
振込先		口座		振替払込請求書兼受領証	
横浜銀行 和田町支店		三菱UFJ銀行 横浜支店		口座記号番号	
ヨコバ		タロウ		002906	
氏名		ご芳名		加入者名	
横国 太郎		横国 太郎		国立大学法人 横浜国立大学	
住所 (〒240-8501)		ご芳名の記載を承諾しない		金額	
横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-1		今後本学からの案内を希望しない		200000	
電話番号 045-339-4443		WEB サイトを参考に希望の品をお選びください (U-6 (ブルー))		振込先	
E-mail ynu.kikin@ynu.ac.jp		ご希望の事業に☑をお願いします。		横浜銀行 和田町支店	
寄附目的		☑ 横浜国立大学 創基150周年・開学75周年記念事業		三菱UFJ銀行 横浜支店	
☑ 教育学部150周年事業		☐ 社会科学系100周年事業		おなまえ	
それぞれに10万円ずつ				ヨコバ 横国 太郎 様	
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号横第6299号)				ご依頼人	
これより下部には何も記入しないでください。				料金	
				備考	

ご希望の事業に☑をお願いいたします。

寄附者様のお名前・ご連絡先をご記入ください。

① 記入例を参考に必要事項をご記入ください。

② ご希望の支援事業に☑をご記入ください。

※複数の事業を選択する場合は、通信欄に各事業への割振り金額をご記入ください。
割振り金額のご指定がない場合は、ご寄附額を案分させていただきます。

※寄附目的のご指定がない場合は、横浜国立大学 創基150周年・開学75周年記念事業としてご寄附を活用させていただきます。

WEBサイトからのご寄附

ご寄附
のお申込は
こちらから



WEBサイトからのお申込みにより、各社クレジットカード決済・ATM・ネットバンキングでご寄附いただけます。

WEBサイトの画面右上に表示される『寄附をする』ボタンから、注意事項をご確認の上、ご寄附金額と必要事項のご入力をお願いいたします。

こちらをクリックしてお手続きを進めてください



ご寄附の払い込み方法



クレジットカード



12月16日以降にお申込みいただいたクレジットカードによるご寄附の領収書は、**翌年の日付**での発行となり、確定申告での寄附金控除につきましても**翌年の対象**となりますので、予めご了承ください。



金融機関窓口、ATM、ネットバンキング

WEBサイトでのお申込み手続き後、メールにて「受付番号」と共に横浜国立大学基金のご寄附専用口座（**ゆうちょ銀行**、**横浜銀行**、**三菱UFJ銀行**）をご案内させていただきます。お振込みの際、名義人欄に**お名前**と「**受付番号**」をご入力ください。

税制上の優遇措置について

個人の皆様

所得税の控除

当事業へのご寄附は、所得控除の対象となります。ご寄附ご入金を確認後、本学から確定申告に必要な領収書を送付いたしますので、お手続きください。

- ・寄附金額から2,000円を差し引いた金額を所得金額から控除します。
- ・所得控除後、所得金額に応じた税率をかけて税額を算出します。



寄附金額※

－

2,000円

=

所得控除の額

※控除となる寄附金額は、当該年の総所得金額の40%が上限となります。

住民税の控除

お住まいの都道府県・市区町村によっては、個人住民税の控除を受けることができます。詳しくは、お住まいの各自治体の税務担当へお問い合わせください。

法人・団体の皆様

法人税法第37条第3項第2号により、寄附金の全額を損金算入することができます。

皆様お一人お一人のご寄附が、次の世紀に向けた
学びと挑戦を支え、地域と世界の未来をつくれます。
ぜひあたたかなご支援を、よろしくお願いいたします。



YNU 横浜国立大学基金
YOKOHAMA National University Fund

横浜国立大学基金に関するお問い合わせ先

横浜国立大学卒業生・基金担当

TEL : **045-339-4443**

平日（月～金）9：00～17：00

FAX : 045-339-3034

E-mail : ynu.kikin@ynu.ac.jp

URL : <https://kikin.ynu.jp/>

〒240-8501

神奈川県横浜市保土ケ谷区常盤台 79-1

